

【様式】 第2号の1～4－②

専門学校

(注) 様式第2号の1－②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

(注) 様式第2号の2－②

※様式第2号の2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

(注) 様式第2号の4－②

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

(申請書を作成する際には、1頁目を削除すること)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沖縄医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	救急救命学科 (2024年度入学生)	夜・通信	9単位	6単位	
	救急救命学科 (2023年度入学生)	夜・通信	9単位	9単位	
	救急救命学科 (2022年度入学生)	夜・通信	9単位	9単位	
	臨床工学科	夜・通信	10単位	9単位	
		夜・通信	10単位		
	柔道整復学科	夜・通信	10単位	9単位	
夜・通信		10単位			
文化・教養専門課程	スポーツ健康学科	夜・通信	13単位	6単位	
	スポーツ健康学科	夜・通信	13単位	6単位	
商業実務専門課程	経営情報学科	夜・通信	12単位	6単位	
(備考) 臨床工学科 上段：旧課程 下段：新課程 柔道整復学科 上段：旧課程 下段：新課程 スポーツ健康学科 上段：旧課程 下段：新課程					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sola.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sola.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2023. 12. 26 ～ 2026. 12. 26	本学園のグローバルな人材育成・持続的安定経営推進・戦略的経営推進
非常勤	大学院 教授	2021. 9. 25 ～ 2024. 9. 25	本学園のグローバルな人材育成・持続的安定経営推進・戦略的経営推進
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sola.ac.jp/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の履修は単位修得制とし、次の各号のいずれにも該当しない学生は、当該授業科目の単位を修得する。</p> <p>(1) 当該授業科目については学習の評価が不合格である者</p> <p>(2) 実験、実習及び実技科目については時限の合計の 5 分の 1 を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計 3 分の 1 を超えて欠席した者</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.sola.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第5条に規定する修業年限以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、学校長が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.sola.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沖縄医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sola.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sola.ac.jp/
財産目録	https://www.sola.ac.jp/
事業報告書	https://www.sola.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://www.sola.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼間	3015 単位時間/単位	1800 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1215 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
3年			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		29人	0人	4人	7人	11人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼間	2640 単位時間/単位	1200 単位 時間/単位	315 単位 時間/単位	1125 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
3年			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		10人	0人	4人	7人	11人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2175 単位時間/単位	1050 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1125 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		15人	0人	4人	7人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>学則第5条に規定する修業年限以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、学校長が卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	人 (%)	8人 (50%)	9人 (50%)
（主な就職、業界等） 消防、自衛隊、病院、民間企業			
（就職指導内容） 面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士、Word・Excel 検定、JPTEC プロバイダー、医療事務資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	5人	10%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期面談（年2回以上）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2715 単位時間/単位	1170 単位 時間/単位	430 単位 時間/単位	875 単位 時間/単位	180 単位 時間/単位	60 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		32人	0人	6人	11人	17人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2625 単位時間/単位	1135 単位 時間/単位	360 単位 時間/単位	900 単位 時間/単位	180 単位 時間/単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		25人	0人	6人	11人	17人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	2人 (8.7%)	13人 (56.5%)	8人 (34.8%)
（主な就職、業界等） 総合病院、病院			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職説明会、履歴書記載指導、就職試験前面接指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第37回 臨床工学技士国家試験合格率 68.2%（22名受験 15名合格） 第44回 第2種ME技術実力検定試験合格率 35.7%（28名受験 10名合格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	7 人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、三者面談の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2829 単位時間/単位	1856 単位 時間/単位	単位時間 /単位	180 単位 時間/単位	793 単位 時間/単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		8人	0人	6人	6人	12人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2805 単位時間/単位	1410 単位 時間/単位	単位時間 /単位	180 単位 時間/単位	1215 単位 時間/単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		7人	0人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>学則第5条に規定する修業年限以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、学校長が卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	人 (%)	5人 (50%)	5人 (50%)
（主な就職、業界等） 接骨院、自衛隊、整形外科			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職説明会、履歴書記載指導、就職試験前面接指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） NSCA 第32回 柔道整復国家試験合格率 66.6%（6名受験 4名合格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学科低下の学生に対する補習授業の実施、個別面談、三者面談の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツ健康学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1800 単位時間/単位	630 単位時間/単位	単位時間/単位	30 単位時間/単位	単位時間/単位	1140 単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		4人	0人	3人	4人	7人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツ健康学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2250 単位時間/単位	765 単位時間/単位	単位時間/単位	540 単位時間/単位	単位時間/単位	945 単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		6人	2人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p>						
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <p>学則第5条に規定する修業年限以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、学校長が卒業を認定する。</p>						

学修支援等 (概要) 学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	2人 (15%)	9人 (70%)	2人 (15%)
(主な就職、業界等) スポーツ関連施設、フィットネスジム、パーソナルジム、福祉施設			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、インターンシップの活用			
(主な学修成果（資格・検定等）) NSCA-CPT 健康運動実践指導者 ビジネス能力検定2級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	10%
(中途退学の主な理由) 留学ビザの更新が不可となった為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との個人面談及び保護者面談等		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	経営情報学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1710 単位時間／単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	810 単位時間/単位	単位時間/単位	945 単位時間/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		106	106	8 人	7 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点とし、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>学則第5条に規定する修業年限以上在学し、当該学科の定める所定の授業科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、学校長が卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生駐車場の設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 新設学科の為、実績なし			
（就職指導内容） 新設学科の為、実績なし			
（主な学修成果（資格・検定等）） 新設学科の為、実績なし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
（中途退学の主な理由） 新設学科の為、実績なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
救急救命学科	200,000 円	1,000,000 円	400,000 円	その他内訳：実習費＋施設費とする
臨床工学科	200,000 円	980,000 円	400,000 円	その他内訳：実習費＋施設費とする
柔道整復学科	200,000 円	880,000 円	400,000 円	その他内訳：実習費＋施設費とする
スポーツ健康学科	200,000 円	630,000 円	300,000 円	その他内訳：実習費＋施設費とする
経営情報学科	200,000 円	680,000 円	300,000 円	その他内訳：実習費＋施設費とする
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から学校評価を実施しており、学校ホームページ上に公表する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って自己点検・自己評価を実施し、その結果をもとに、関連業団体有識者、企業役員、保護者・卒業生代表で構成される学校関係者評価を実施している。 自己点検・自己評価の主な評価項目は、①教育理念・目標・人材育成②学校運営③教育活動④学修成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生の受入れ募集⑧財務⑨法令等の遵守⑩社会貢献・地域貢献⑪国際交流 (必要に応じて) としている。 評価結果の活用方法については、学内評価委員会により自己採点評価を行い、評価項目内容について改善すべき事項を抽出し、学校関係者評価委員会にて総合的に評価を実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
梅村 武寛 (救急救命学科) 琉球大学大学院医学研究科 教授	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
佐々木 秀章 (救急救命学科) 赤十字病院 救急・集中治療部 部長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
山入端 航大 (救急救命学科) 卒業生	R5. 3. 17～R7. 3. 31	卒業生
赤嶺 史郎 (臨床工学科) 医療法人徳洲会 南部徳洲会病院/ 一般社団法人沖縄県臨床工学技士会 会長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
又吉 妙子 (臨床工学科) 沖縄県立中部病院 臨床工学技士長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員

宮城 貴（柔道整復学科） 公益社団法人沖縄県柔道整復師会 副会長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
嘉数 直也（柔道整復学科） 公益社団法人沖縄県柔道整復師会 広報部長	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
譜久里 武（スポーツ健康学科） 一般社団法人地域総合型スポーツク ラブ アスリート工房代表	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
宮川 幸子（スポーツ健康学科） 琉球大学大学院医学研究科 救急医 学講座 助教	R5. 4. 1～R7. 3. 31	企業等役員
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.sola.ac.jp/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.sola.ac.jp/
--